

# meiji 駿台倶楽部会報

明治大学野球部OB会ニュース

発行 駿台倶楽部  
 会長 吉川 芳登  
 府中市若松町5-6-1  
 明治大学野球部合宿所内  
 電話番号(042)313-4134  
 F A X番号(042)364-5605

## 善波監督退任—令和2年はNEW明治!! 田中武宏氏新監督就任

新会長には吉川芳登氏が就任<sup>7</sup>面



優勝を誓って手を取る  
 (左から)公家  
 主将、田中監督、  
 吉川会長

助監督には戸塚氏が就任

令和2年はニュー明治でシーズンに臨む。3期12年の長期に渡り監督を務めた善波達也氏が退任、コーチの田中武宏氏(S59年卒)が新監督に就任、指揮を執ることになった。田中新監督は11年からコーチとしてベンチ入り。多忙な仕事の合間を縫って週末に神戸から上京し善波監督を支えてきた。監督就任を機に日産自動車を退社、1月6日の練習スタートから寮に住み込んで部員を指導している。助監督には審判員として活躍した戸塚俊美氏(S62年卒)が就任、鈴木文雄、西嶋一記両コーチは続けて指導する。

公家響内野手(横浜)が主将となり副主将には入江大生投手(作新学院)清水風馬捕手(常総学院)市岡奏馬外野手(龍谷大平安)の3人が務める。また2期4年にわたり駿台倶楽部会長を務めた土井淳氏が退任、吉川芳登氏(S42年卒)が新会長となること、駿台倶楽部総会でも了承された。田中新監督、公家主将、そして吉川新会長。現役、OBが一体となって春季リーグ連覇を目指しスタートを切った。

# 12年間の監督人生に幕

善波監督お疲れさま



08年春 東大戦で初勝利  
11年秋 野村が通算30勝  
11年 神宮大会で優勝  
13年春 法大破り逆転V  
16年春 3季ぶり優勝  
17年 阪神春季C視察  
19年秋 退任会見で花束

## コーチ時代含め16年間指導

# 善波氏



**リーグV9度 日本一3度導いた名将**

善波監督ありがとう。3期12年に渡る監督、コーチ時代も含めると実に16年間も野球部を指導した善波達也監督(57)が令和元年のシーズンをもって退任した。監督生活でリーグ優勝9度、大学選手権1度、神宮大会2度の計3度の日本一を達成。島岡吉郎監督直伝の「人間力野球」を継承した名將がユニホームを脱いだ。

新しい空気を入れて

昨年10月30日の立大戦。0-1で敗れ全日程を終了すると、神宮球場の記者ルームで退任の報告を行った。新しい空気を入れて強い

野球部を作ってほしいと思ったと退任理由を説明、笑顔の会見となった。これまで5000人

近い教え子を社会に送り出した。六大学以外にも2度の学生日本代表の監督を務めた。日米大学野球、ユニバースなど海外遠征も多かった。リーグ戦の間は高校生の視察やキャンプ、遠征に冠婚葬祭など年間を通して多忙な日々を送る。島岡吉郎監督から受け継いだ「人間力野球」を前面に出し、野球の技量ではない部分を大事にした。島岡監督時代は

鉄拳で鍛えることも多かった。時代は変わって鉄拳から対話に。善波監督は我慢強く選手の成長を促した。今は120人を超える部員が全員寮生活。寮のルールを破ったり、日頃の練習態度が悪かったら容赦しなかった。グラウンドに入ることを許さず、それが主力選手でも同じ。反省文を提出させ面談。これも社会人への教育だった。

**重視** これからは外部から野球部を支えていきたい」とアドバイスを送る方針。プロ野球へ多くの選手を送り出したことにより、社会で役に立つ人間を作ること喜びを感じた12年。リーグ優勝9度、全日本大学選手権を昨年38年ぶりに勝つなど日本一3度の偉業。一休型まで御大に似てきたね」と周囲からの声もうれしそうだった。

島岡監督からの明治野球をしっかりと受け継ぎ、次は監督を支えてくれ

た田中武宏コーチに監督を託す。大リーグ、ドジャースのラ・ソウダ元監督が「私の体を切ったらドジャールーの血が流れる」と言ったが善波監督もきつと紫紺の血が流れると言った。明治のために尽くした男。通算183勝111敗18分の成績を残し神宮を去った。

**社業専念も見守る**

○：駿台倶楽部賞を受けた善波前監督は、支えてもらったスタッフ、OBらすべての関係者に感謝した。監督就任した春にリーグ優勝。計9度、全日本大学野球選手権1度、神宮大会2度の日本一を達成。学生日本代表の監督も務めるなどアマ球界の発展にも尽力した。今後は社業に専念するが「今の1年生は私が入学させた選手なので見守っていきま

手を焼いた選手は島内

○…退任会見で報道陣から手を焼かせた選手を聞かれた善波監督。しばらく考えた後「そうですね、島内(宏明=楽天)かなあ。アイツをどうや

壇上で挨拶する(左から)田中監督、戸塚助監督、鈴木、西嶋両コーチ



## 善波の熱意に覚悟決めた!! 昨5位から巻き返す

今季から指揮を執る田中武宏新監督が1月6日から始動した。コーチ9年、チーム事情を一番知るOBだ。善波達也前監督からバトンを受け、どんな野球を目標に掲げるのか話を聞いた。

# 田中監督受け継ぐ



**最初は無理と!** 夜の練習を充実

監督就任おめでとう

最初は無理です。善波監督の横で9年コーチをしてきたんですから、監督の大変さはわかっていましたから。

でも引き受けた。

善波のお話しします。という熱意ですが、家族と話して家内からもダメとはいわれな

かっした。

会社も辞め島岡寮に住み込んで指導。

コーチのときは週末だけだし、レギュラーが中心。全部員を指導するには寮で暮らした方が効果的。ささいなことや生活面の乱れなども目が届きやすいコミュニケーションも取りやすいですよ。

どんな野球を目指

やはり明治は人間力野球が大前提です。投手は入江が軸打線は公家中心

期待する選手は?

昨秋の成績(5位)で選手は危機感を持っていてと思う。投手では入江が軸になってもらわないと困るし左の石毛、磯村の2人も働いてほしい。打線は主将の公家を中心。昨秋は丸山の欠場が痛かったからね。

陶山は大学選手権で活躍したのに秋は伸びなかった。丸山、陶山と足のある選手に若手。キャンプ、オープン戦で競争させます。

練習量も増える?

夜の練習を充実させたい。授業から帰る室内でね。自主練習なんだが、やらせない選手もいる。全体的に練習量が少ないので工夫して夜の練習量を増やしていきたい。

戸塚俊美氏が助監督に就任した。

西嶋コーチが投手、鈴木コーチが打撃、そして戸塚には全体を見てもらう。厳しさを植え付けてもらう。試合では戸塚にベンチに入ってもらおう予定です。OB、ファンの方の皆さんの期待に応えられるよう頑張りたいと思います。

田中武宏(たなか・たけひろ) 1961年(昭36)4月10日、兵庫生まれの58歳。舞子1明大。舞子3年夏は兵庫ベスト4。明大では1年秋からベンチ入り。後足巧打の外野手として活躍。3年時に大学日本一。1年後輩には広沢克実、善波達也前監督らがいる。卒業後は日産自動車に進み、入社1年目の84年に都市対抗優勝。日本石油(現ENEOS)の補強選手として都市対抗優勝を経験している。11年から明大のコーチ。12年の田中勇次主将は長男。

# 人間力野球

# 「ありがとう」野球部を支えた2人の女子マネジャー

## アツコがいてくれて楽しくできました 杉山真由

## 逆瀬川愛紀子 マユと一緒にやれたことがよかった



野球部を支えた逆瀬川愛紀子(左)と杉山真由両マネ。夏の高森キャンプで部員の飲み物を用意する杉山(手前) 逆瀬川両マネ

### 多岐に渡る業務

逆瀬川は父・太郎さんが明大野球部の大ファン。子供時代から父で神宮に通い明大を応援していたから入学すると迷わず野球部の門を叩いた。父が野球部のプレーヤーを着た姿を見て喜んでくれたのがうれしかった。父への最高の「親孝行」となった。杉山は高校時代から入学すると迷わず父に野球部のマネジャーを勧められた。休日六大学

### 逆瀬川は父・太郎さんが明大野球部の大ファン。子供時代から父で神宮に通い明大を応援していたから入学すると迷わず野球部の門を叩いた。父が野球部のプレーヤーを着た姿を見て喜んでくれたのがうれしかった。父への最高の「親孝行」となった。杉山は高校時代から入学すると迷わず父に野球部のマネジャーを勧められた。休日六大学

4年間、野球部のために陰から支えた逆瀬川愛紀子、杉山真由の女子マネジャー2人も卒業する。野球部の運営、神宮球場のアナウンス、ファンやOBとのつきあいに後輩の指導と仕事は多岐に渡った。インシシ軍団に笑顔を送り込み、多岐に渡る業務。逆瀬川は父・太郎さんが明大野球部の大ファン。子供時代から父で神宮に通い明大を応援していたから入学すると迷わず野球部の門を叩いた。父が野球部のプレーヤーを着た姿を見て喜んでくれたのがうれしかった。父への最高の「親孝行」となった。杉山は高校時代から入学すると迷わず父に野球部のマネジャーを勧められた。休日六大学

野球を観戦し「大学でも続けたい」と思ったという野球好き。だから4年間2人で力を合わせて頑張った。マネジャーはOBやファンとの対応、平日は寮での電話番、細かい事務作業など地味なことが多く。また明大の試合ではアナウンスも務め、神宮球場で2人の美声を聞いた人も多かっただろう。夏の高森キャンプ、米国会

遠征では選手のユニホームを1日中洗濯するなどお母さんの役割も果たし、選手は頭が上がりないう存在だ。下級生女子マネへの指導だけでなく、部員への激励も忘れない。2人の笑顔に救われた部員も多い。4年間、学業との両立も大変だったが「入学してすぐ春秋連覇に神宮大会優勝、4年の時は大会選手権優勝とすごい経

### 4年からマネジャー転向古谷「後悔ありません」

〇...4年になってマネジャーに転向した古谷は苦勞の1年間だった。「遠征や激励会など初めてのことが多かったけど、大変だったけど少しは成長できたかなと思います」と振り返った。春季リーグ、大学選手権とも優勝時にベンチで喜びを体験した。「本当に最高の瞬間でした。4年間で一番濃い1年。マネジャーになる道を選んで後悔はありません」と笑顔で卒業する。

### 逆瀬川愛紀子 (さかせがわ・あきこ)

1997年7月25日、東京生まれの22歳。八王子一明大政経学部。座右の銘は「日々成長し」特技は暗算。新チーム期待の選手は鈴木貴士内野手。1年66。第一生命入社予定。

### 杉山真由 (すぎやま・まゆ)

1998年3月2日、神奈川県生まれの22歳。厚木一明大政経学部。座右の銘は「G.O.」特技は「うまく生きること」。新チーム期待の選手は鈴木貴士内野手。1年55。日本生命入社予定。

### スポーツ推薦 1年生14人

今年もスポーツ推薦で14人がインシシ軍団に加わった。投手では昨春のセンバツに出場した村田賢一投手(春日部共栄)は本格右腕。広陵からは石原勇輝、森勝哉の両左腕が入学。桐蔭学園の大型左腕、渡部慎之介にも期待が集まる。野手では左の強打者・上田希由翔(愛産大三河)、津田学園の大首脳・後足巧打。日本一の履正社からは西川黎外野手が入学。甲子園には出場していないが常総学院の斎藤勇人は1年86の大型内野手。昨夏の甲子園で打球が体に当たったから「ほく」のよけ方が悪かったですと頭を下げ、次のボールを本塁打した菅原謙

### 新人戦3位

19年秋季フレッシュトーナメント(新人戦)開幕。Aブロックの明大は初戦の早大と1勝1分け。2戦目の法大は4-3と勝利し1勝1分となったが、リーグ戦上位成績の早大と並んだため早大が1位扱いに。3-4位決定戦に回った明大はB組2位の立大と対戦し4-3と逃げ切り3位で終了した。バットを短く持ち鋭く振る目的で打席に立ったが、結果は乏しく課題も多かった。

### 残ったフレッシュトーナメント

フレッシュトーナメント(新人戦)開幕。Aブロックの明大は初戦の早大と1勝1分け。2戦目の法大は4-3と勝利し1勝1分となったが、リーグ戦上位成績の早大と並んだため早大が1位扱いに。3-4位決定戦に回った明大はB組2位の立大と対戦し4-3と逃げ切り3位で終了した。バットを短く持ち鋭く振る目的で打席に立ったが、結果は乏しく課題も多かった。

# 春秋連覇逃す

### 19年 秋季リーグ成績 4勝8敗1分5位

9月14日 神宮第1	明大 0000020000024	東大 0001000100002
9月15日 神宮第2	明大 000000000000	東大 00420200X18
9月28日 神宮第1	早大 000000000000	明大 40000000X14
9月29日 神宮第2	明大 00000101012	早大 00004020X16
9月30日 神宮第1	早大 0100000034	明大 0001000001
10月5日 神宮第1	法大 1000001002	明大 0000000000
10月6日 神宮第2	明大 0000100001	法大 00200000X12
10月19日 神宮第1	慶大 2000200004	明大 1000000001
10月21日 神宮第2	明大 0001000001	慶大 0000100012
10月26日 神宮第1	明大 5000000000005	立大 0000000020005
10月27日 神宮第2	立大 0000100001	明大 00000510X16
10月28日 神宮	明大 1000000001	立大 00004011X16
10月30日 神宮	立大 0000001001	明大 0000000000



### 投打噛み合わず

秋季リーグ戦は残念な結果となった。連覇を逃した。開幕の東大戦、早大と2連戦。この6試合で2得点が最高。森下投手陣が踏ん張ったが及ばなかった。立大戦も4回戦まで持ち込んだが1勝2敗1分。最後まで復調しないまま終戦した。出場した選手は実にリーグ最多の52人。1年生も多クスタメンの名を連ねた。代打起用は45回。安打は5本、16三振の打率・1.11と低調だった。チームが不振な時にどう結果を出せるか。精神面も含め課題の多いリーグ戦となった。

### 添田春秋連覇ベストナイン

項目	選手名 (所属)	票	回数
投手	添田 明 (慶大)	10	初3初初初
捕手	森田 晃介 (慶大)	10	満11満満
一塁手	山下 健太 (慶大)	10	満11満満
二塁手	小原 隆 (慶大)	10	満11満満
三塁手	山下 悠介 (慶大)	10	満11満満
遊撃手	添田 明 (慶大)	7	初初初初
外野手	毛利 元哉 (早大)	10	10
外野手	田口 智也 (慶大)	10	10

添田のすごさを表す数字がある。2年からリーグ戦に出場し61試合、164打数60安打の通算打率は.366。これは他大学の選手と比較しても色の数字だ。「そうでもない、結果は残念なかなと思っます。特に4年生の1年間は濃い1年になりました。打率はもうろんですが四死球も取れて出塁率も高かったのが誇りです」と振り返る。左打席から左右に打ち分け、相手校から一番マークされた打者。その中でも結果を出せた自信は大きい。今後は社会人野球の強豪・日春に挑む。今後は社会人野球の強豪・日春に挑む。今後は社会人野球の強豪・日春に挑む。

### リーグ戦デビューした選手

選手名(所属)	防	回	勝	敗	責
朝山(法)	0.68	26⅓	5	4	0
森下(明)	1.00	54	7	2	3
森田(慶)	1.35	33⅓	6	2	1
徳山(早)	1.50	36	5	3	1
手塚(立)	1.57	28⅓	6	3	0
高田(法)	1.99	22⅓	5	3	0
中田(慶)	2.53	46⅓	8	4	2
高橋(立)	2.73	29⅓	6	2	0
早川(早)	3.00	45	9	2	4
伊勢(明)	3.08	26⅓	6	1	3

### 東京六大学秋季リーグ戦勝敗表

順	校名	慶	大	法	大	早	大	立	大	明	大	東	大	勝	敗	分	勝点	勝率
1	慶大	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	2	0	4	.818
2	法大	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	2	0	4	.800
3	早大	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7	6	0	3	.538
4	立大	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	6	6	1	3	.500
5	明大	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	4	8	1	1	.333
6	東大	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0	10	0	0	.000

# 「OBの皆さんと力を合わせ野球部を支援」

## 「誠心誠意務めたい」



駿台倶楽部懇親会で挨拶する吉川新会長

# 吉川芳登新会長

**全会一致で承認**  
 野球部OB会組織である駿台倶楽部の理事会、総会が1月12日、大学内で開催された役員改選が行われ全会一致で承認された。新会長には吉川芳登氏（S42年卒、75歳）が就任、副会長には新たに高森啓介氏（S39年卒）と山東孝好氏（S46年卒）が加わった。午後に行われた懇親会で、吉川新会長は「OBの皆さんと力を合わせ野球部を支援していく。誠心誠意務めたい」と思いを述べた。土井淳前会長とがっ

### 審判生活36年 審判技術顧問

吉川芳登（よしかわよしと）1945年（昭和20）2月14日、大阪生まれ。大阪府立高上から明大に入学。内野手として活躍し66年春のリーグ戦で遊撃手としてベスト9。卒業後、日本コロムビアに入社、都市対抗に2度出場しライト工業に移り軟式野球で団体3連覇。84年、島岡監督から審判を手伝えと指令を受け6大学の審判に。審判生活36年、甲子園は幹事も含め27年間携わった。現在、審判技術顧問。

位置	選手名 (出身校)	進路
投手	伊勢大田 (九州学院)	横浜DeNAベイスターズ
	大信理 (明徳義塾)	JR東日本
	長江山前 (帯広緑陽)	北海道ガク
捕手	赤木西野 (育英)	旭化成ホームズ
	橋本連 (浦和学院)	JR東日本
	蓮見昌吾 (明大中野)	NTT都市開発
内野手	荒井喜北 (明徳義塾)	アサヒビール
	北村亮一 (鎌倉学院)	日本製鉄かずさマジック
	熊谷水田 (二松舎大附)	オリックス
	前田勇彦 (春日部共栄)	東京ガス
	宮本森 (明大中野)	NTTコミュニケーションズ
	鴻太朗 (佐久長聖)	日本通運
外野手	今村健太郎 (鹿児島中央)	鹿児島テレビ放送
	内山俊 (静岡)	Honda鈴鹿
	大内拓磨 (明大中野)	野村証券
	梶原悠太郎 (祇園北)	野村証券
	高野凌 (春日部共栄)	NEC
	野瀬隆徳 (明大中野)	コナミネホールディングス
コ	今井川 (豊知川)	東海テレビ放送
	住吉美希 (明大)	テレ1きら
	森建人 (明大中野)	全銀新
マ	古谷恒之 (明徳義塾)	N第1
	逆瀬川愛紀 (王子学院)	H生
	杉山真由 (厚木)	K命



駿台倶楽部懇親会を受け挨拶する土井前会長

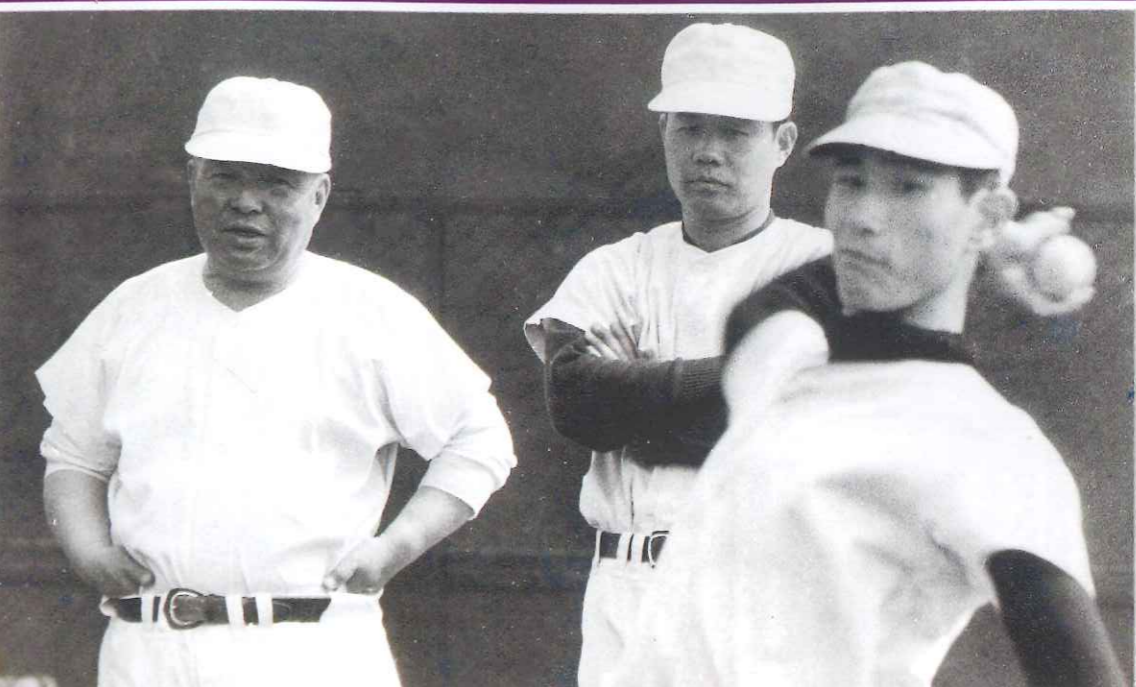
**土井前会長大役果たす**  
 ○：リーグ開催日には神宮球場に足を運び、春の沼津キャンプ、夏の高森キャンプをはじめ米国遠征にも帯同した土井淳前会長は大役を果たした。吉川新会長と握手を交わし、「これからバックアップする」と今度は側面からバックアップする。

**公家馨主将**  
 チャンスに強いリーダーを目指し、勝利に貢献します。  
**市岡奏馬副主将**  
 日本一を奪還します。  
**入江大生副主将**  
 自覚と責任を持ち結果にこだわってやっています。  
**清水風馬**  
 公家をしっかりと支え自分らしくチームを引っ張っていきます。

**野球部新役員**  
 △主将 公家馨 (横浜) △副主将 入江大生 (作新学院) △主務 太田空 (明大中野) △学生コーチ 大竹義輝 (明大中野) △小原壮太 (同) △関根大樹 (成田) △吉村孝 (明治) △武藤俊 (3年=佼成学園) △寮長 青木舜佑 (東京都大付) △鈴木貴士 (佐久長聖) △堀大祐 (明治) △藤江康太 (千葉黎明) △令和元年度に亡くなられたOBの方 <昭30年卒>杉本正太郎氏 <昭31年卒>中尾彦彦氏 <昭32年卒>滝沢精一氏 <昭34年卒>橋本浩太郎氏 <昭35年卒>植木茂氏 <昭39年卒>石岡康三氏 <昭40年卒>市原数男氏 <昭41年卒>柏原源吾氏 <昭52年卒>松尾荘吾氏 <昭53年卒>宮垣広人氏。謹んでご冥福をお祈りいたします。

# 島岡吉郎物語 ~明中監督編~

**明中野球部を私に預けてほしい**  
 前回まで、明治中をバックアップしていた島岡は46年、中等学校野球大会東京予選で都立五中(現小石川)に敗れた明治中に憤慨。翌日には大学に掛け合い双川喜一専務理事に直訴。「明中野球部を私に預けてほしい」と訴えた。



**双川に直訴**  
 島岡吉郎の動きは早かった。敗戦の翌日、妻・キヌに「学校へ行ってくださる」と言い残すとその足で双川喜一専務理事を訪ねて、島岡の訴えに双川も驚きを隠さなかった。ただ野球部を任せると言っているのではない。「戦争に負けて大人は子供に何も与えていない。まず、子供に手を差し伸べることから始める。きちんと与えたうえで叱るべきところは叱り教育すべきところは教育していくんです。足が地についた実地教育をしたいんです」

**「楽に」別府**  
 明中野球部監督に就任した島岡が、当時明大野球部員で明中の監督を兼任していた別府隆彦(後に明大監督)を呼び出しチーム作りを始めた。当時、別府は「島岡さんが監督になれるという話を聞いたとき、やれやれ、これで楽になれる

腕組みをして聞いていた双川はうなずくと「よし、わかった。君に任せよう」と首を縦に振った。すぐさま鶴沢聡明総長を訪ね支援まで取り付けてしまった。野球部を運営していくには学校の理解とバックアップが不可欠だというのが島岡の基本方針だった。

**岡田を訪ね**  
 正式に明中野球部監督に就任した島岡は、高田馬場に住んでいた野球部OBの岡田源三郎(野球殿堂入り)を訪ねた。以前の号でも触れたが、松井久の選挙事務所でも島岡を別府と引き合わせたのが岡田だった。岡田と面会した島岡は即座に「明中のコーチを引き受けてくれませんか」と深々と頭を下げたのである。

という気持ちが先だって、応援団長だった島岡さんが野球の監督をやれるのだろうか、なんて考えもなかった」と述懐している。

**六球会立大に快勝**  
 東京六大学野球のOB



六球会野球で立大に快勝した明大OBメンバー



関西六大学OB会で田中新監督(後列中央)を激励するOBたち

**駿台倶楽部賞**  
 懇親会では野球部、野球界に貢献したOB、現役選手に駿台倶楽部賞が贈られた。

○土井淳氏 4期8年に渡り副会長、会長として倶楽部の先頭に立ち、野球部の環境整備、技術向上に貢献した。  
 ○小林正三郎氏 倶楽部役員として永年に渡り運営の円滑化に貢献、明大体育会やアマチュア野球界の発展にも寄与した。  
 ○後藤豊彦氏 永年に渡り野球部コーチとして技術指導、人間力向上にも尽力。野球部発展に貢献した。  
 ○善波達也氏 コーチ4年、監督12年と16年間チームを牽引。学生日本代表の監督を務めるなど学生球界に貢献した。

○柳沢博美氏 高校野球の指導者として長野県高校野球の発展に尽力。日本高野連から「育成功労賞」を受賞、明大野球部の名声を大いに高めた。  
 ○森下暢仁投手 日米大学野球MVP、全日本大学野球選手権でもMVPを獲得。主将として38年ぶりの日本一に貢献した。  
 ○北本一樹内野手 全日本大学野球選手権では打率.538で首位打者賞を獲得。副主将としてチームを引っ張った。  
 ○添田真海内野手 昨年春のリーグ戦で打率.400で首位打者賞を獲得。春秋ともベストナインに輝いた。

駿台倶楽部賞を受賞した(前列左から)後藤氏、小林氏、土井前会長、善波氏、柳沢氏

DeNAに3位で入団した伊勢

3DeNA位伊勢「みんなに感謝して役に立ちたい」



「不安と緊張で」

〇…本人以上に部員が喜んだのが伊勢の指名だった。森下と並んでドラフト中継を見ながら「指名してくれるのか不安と緊張で大変だった」と振り返ったが、DeNA 3位で自分の名前が呼ばれた瞬間、部員全員から大きな拍手が起こり、善波監督も最高の笑顔で手を伸ばした。

「本当にうれしかった。一軍で活躍できるようもっと練習して頑張りたい。入学したときはプロなんて夢の世界だったけど、プロの世界に立てる。みんなに感謝して役に立ちたい」

1月に交通事故で心配させたが、大事には至らず。伸びしろは十分の右腕は中継ぎで一軍入りを狙っていく。

野村 先輩 十分理解している。一まず開幕一軍。そして新人王を目指し

その恩は森下も十分に理解している。一まず開幕一軍。そして新人王を目指し

球界を代表する投手に

ボールを手に笑顔でポーズをとる森下



開幕一軍、新人王、そしてその先へ 広島ドラフト1本森下

10月17日に行われたプロ野球新人選抜会議(ドラフト)で、明大からは主将の森下暢仁投手(大分商)が10年連続ドラフト指名 広島の1位で、伊勢大夢投手(九州学院)が横浜DeNAの3位で指名された。これで10年連続の指名。2人とも開幕一軍、そして新人王を目指してプロの世界に飛び込んだ。

単独指名 〇…本人以上に部員が喜んだのが伊勢の指名だった。森下と並んでドラフト中継を見ながら「指名してくれるのか不安と緊張で大変だった」と振り返ったが、DeNA 3位で自分の名前が呼ばれた瞬間、部員全員から大きな拍手が起こり、善波監督も最高の笑顔で手を伸ばした。

背番18 ストレートは150キロを超え、カットボール、スライダー、カーブ、チェンジアップとすべてが一級品。契約金1億円、出来高500万円、年俸1600万円(金額は推定)の上

善波監督が悩んだ末に決断した主将の重責。マサト(森下)の今後の野球人生に必ず役立つから」と先を見据えて背負わせた10番。春のリーグ優勝、38年ぶりの日本一はその結果でもあった。



佐々岡監督(右)と握手をかかわす森下

高の笑顔を見せた。ストリートは150キロを超え、カットボール、スライダー、カーブ、チェンジアップとすべてが一級品。契約金1億円、出来高500万円、年俸1600万円(金額は推定)の上

限最高提示で入団することになった。背番号は佐々岡監督、ドラフト指名のジャヤースの前田健太が背負った18のエース番号。身が引き締まる思い「は正直な感想だろう。」

野村 先輩 十分理解している。一まず開幕一軍。そして新人王を目指し

昨年、リーグ4連覇を逃した広島。V奪回へ野村&森下の明大コンビがタッグを組んでペナントを取り返すつもりだ。

野村 先輩 十分理解している。一まず開幕一軍。そして新人王を目指し

野村 先輩 十分理解している。一まず開幕一軍。そして新人王を目指し

野村 先輩 十分理解している。一まず開幕一軍。そして新人王を目指し

野村 先輩 十分理解している。一まず開幕一軍。そして新人王を目指し

野村 先輩 十分理解している。一まず開幕一軍。そして新人王を目指し

野村 先輩 十分理解している。一まず開幕一軍。そして新人王を目指し

野村 先輩 十分理解している。一まず開幕一軍。そして新人王を目指し

社会人野球の道へ

社会人野球で野球を続ける選手も多くいる。長江理貴投手は北海道ガス、捕手の西野真也はJR東日本、一塁手の喜多真吾は日本製鉄かずさマジック、三塁手の北本一樹は東京ガス、首位打者を獲得した二塁手の添田真海は日本通運、外野手の内山峻はHonda鈴鹿、和田慎吾は三菱日立パワーシステムズに進む。すでに会社の寮に入り練習をスタート。11月に変則開催される都市対抗野球(東京ドーム)の出場を目指す。

写真協力 スポーツニッポン新聞社 ☆紙面編集 齋木 駿